

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 農林水・商工連携にかかる商談会等開催（北陸商談会の開催）

JA名 JAバンク富山（富山県）

1 動機 (経緯)	JAグループでは農業生産額と農業所得の増大に向けて、地産地消、農商工連携等の実践により、生産から流通・販売を通じた戦略をグループ一体となって構築することとしています。 JA・農業生産者等の販売力強化ニーズや地域の農産物、加工品等のブランド強化によりJA・農業生産者等の満足度向上を図るため、「北陸農林水産物の再発見・北陸の食材の提案」をコンセプトに、北陸3県のJA、農業生産者等を対象として商談会を開催し、農産物・加工品等の商談や情報交換の場を提供するなどビジネスマッチングの支援に取り組みました。
2 概要	開催日・場所 平成23年11月8日(火) 石川県金沢市 参加団体 売り手側は、主に北陸3県(富山、石川、福井)の農産物、海産物およびその加工品を取り扱うJA、経済連、全農(子会社含む)、農業生産者、農業法人、JF(漁協)等、計34団体の皆様にご参加いただきました。買い手側は、地元及び首都圏・東海・関西地区のスーパー、食品加工、ホテル、食品卸等 計31団体の皆様にご参加いただきました。 商談形式 売り手側と買い手側に対して、事前に商談の意向や関心のある出品物を確認させていただき、双方のニーズが合致すれば当日に具体的な商談を行う「事前マッチング方式」により実施いたしました。前年度の売り手側参加者ニーズを踏まえ、買い手側として地元企業の参加拡充に努めました。(前年度の5団体から22団体に拡大) その他 商談会に合わせ、農商工連携及び販路拡大をテーマとしたセミナーを実施し、多数のご参加をいただきました。
3 成果 (効果)	本商談会は、JF(漁協)の方にもご参加いただくなど系統組織らしい商談会となったほか、生産現場に近い、地方開催であることから、買い手の皆様には北陸の農林水産物の再発見を、売り手の皆様には北陸からの食材の提案を行うという形で、より深い商談を行っていただくことができました。商談数は計124件、うち商談成立は計15件となりました。また、行政・系統関係者の皆様にも視察のため多数ご来場いただきました。
4 今後の 予定(課題)	JA、農業生産者等の方々の方々のニーズを踏まえ、平成24年度も、より一層参加者の満足度向上を目指した商談会の開催を予定しています。 こうした取組みをはじめとして、引き続き、JA、農業生産者等の6次産業化や農商工連携の取組みを支援してまいります。

